

令和2年12月10日  
令和2年度 第1回  
健康づくり推進協議会

## 資料 1

# 特定保健指導実施率の向上

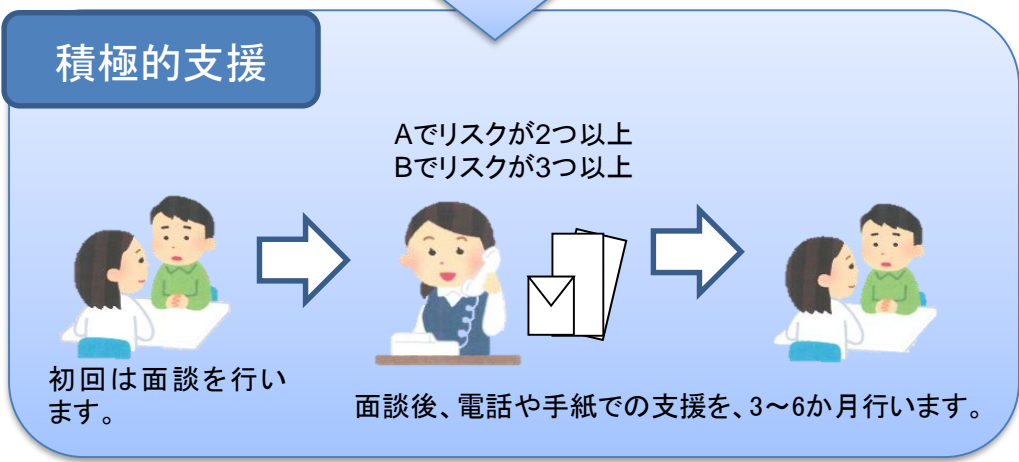
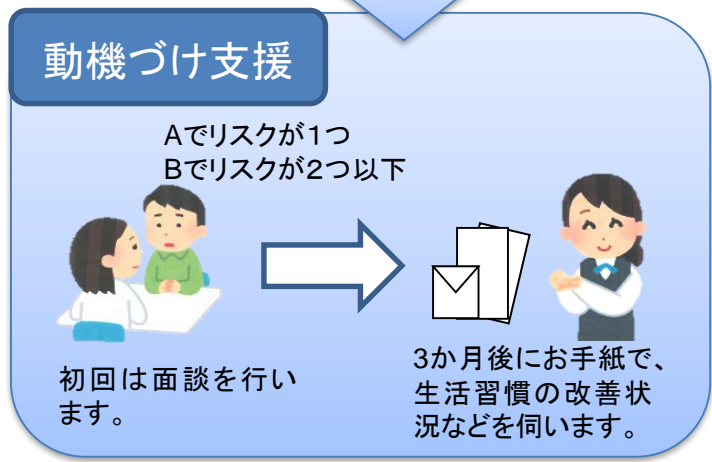
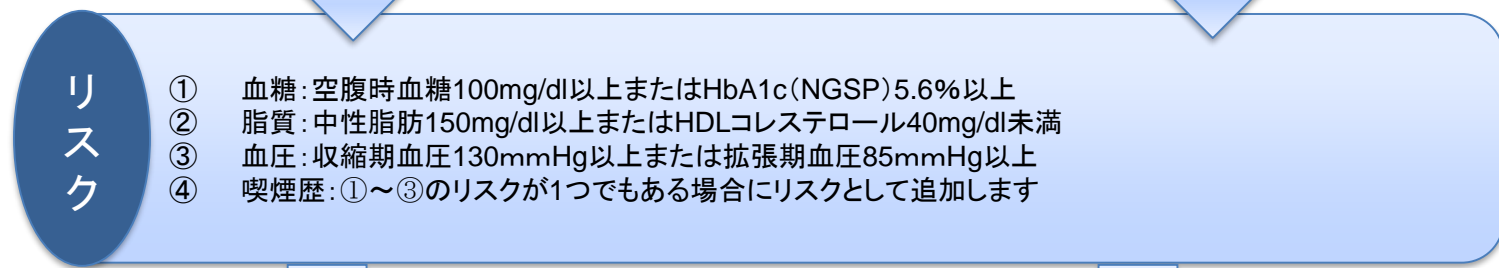
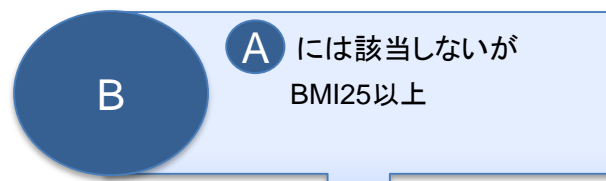
## 特定保健指導とは

### 目的

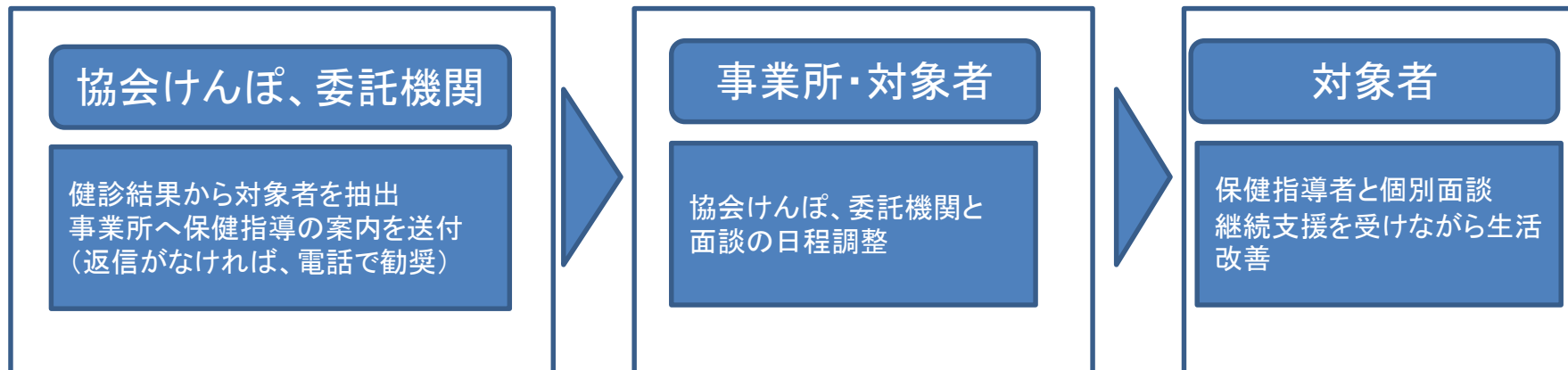
生活習慣改善や行動変容を支援し、生活習慣病のリスクを減らすことで、将来の発症を予防する。

### 対象

健診の結果でメタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)、またはその予備群と判断された方。



## 特定保健指導の流れ



## 保健指導実施機関

協会けんぽ	保健指導者13名(保健師、管理栄養士)	下記の対象者以外に案内、実施。
委託機関	健診機関12機関 福井県予防医学協会、福井県労働衛生センター、福井総合クリニック、春江病院、広瀬病院、県民健康センター、織田病院、福井勝山総合病院、福井県厚生農業協同組合連合会、林病院、公立丹南病院、福井県済生会病院	各健診機関が、自施設の健診受診者へ保健指導の案内を行い、実施している。
	保健指導専門機関2機関 株式会社ベネフィット・ワン、株式会社ベストライフ・プロモーション	対象者2名未満の事業所、嶺南の事業所、ICT面談を希望の事業所を、協会けんぽから委託している。

# 福井支部の健診受診率

＜被保険者＞ 40歳以上

	対象者数	受診者数	受診率	全国の受診率
H30	118,520	86,046	72.6%	58.0%
R1	121,944	89,974	73.8%	60.0%
R2(4-9月)	123,649(推計)	37,036	30.0%	

※生活習慣病予防健診と事業者健診の合計

＜被扶養者＞

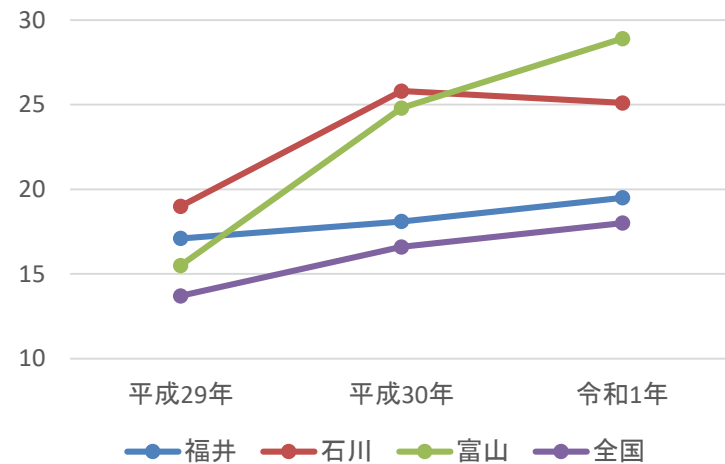
	対象者数	受診者数	受診率	全国の受診率
H30	28,241	6,005	21.3%	24.4%
R1	27,969	6,358	22.7%	25.5%
R2(4-9月)	28,142(推計)	1,582	5.6%	

# 特定保健指導該当割合と実施割合

	H30				R1			
健診受診者数	92,051				96,332			
指導該当人数 (割合)	17,232 (18.7%)				17,814 (18.5%)			
指導内訳	動機づけ 7,225		積極的 10,007		動機づけ 7,701		積極的 10,113	
指導実施人数 (割合)	3,067 (17.8%)				3,419 (19.2%)			
実施内訳	動機づけ 1,537		積極的 1,530		動機づけ 1,607		積極的 1,812	
実施機関内訳	支部 1,275	委託 262	支部 1,364	委託 166	支部 1,318	委託 289	支部 1,519	委託 293

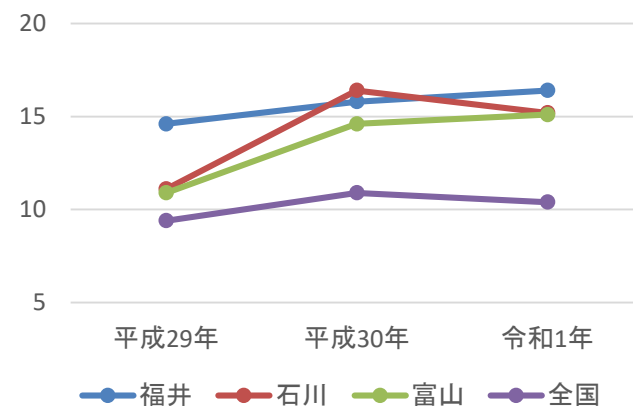
## 被保険者 特定保健指導実績年次推移(支部+委託)

		平成29年	平成30年	令和1年
福井支部	対象者数	15,534	16,724	17,319
	実施件数	2,662	3,023	3,372
	実施率	17.1%	18.1%	19.5%
石川支部	実施率	19.0%	25.8%	25.1%
富山支部	実施率	15.5%	24.8%	28.9%
全国平均	実施率	13.7%	16.6%	18.0%



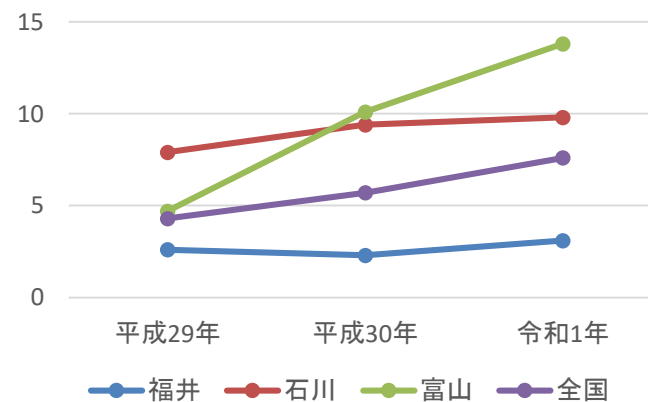
## 被保険者 特定保健指導実績年次推移(支部)

		平成29年	平成30年	令和1年
福井支部	対象者数	15,534	16,724	17,319
	実施件数	2,264	2,639	2,833
	実施率	14.6%	15.8%	16.4%
石川支部	実施率	11.1%	16.4%	15.2%
富山支部	実施率	10.9%	14.6%	15.1%
全国平均	実施率	9.4%	10.9%	10.4%



## 被保険者 特定保健指導実績年次推移(委託)

		平成29年	平成30年	令和1年
福井支部	対象者数	15,534	16,724	17,319
	実施件数	398	384	539
	実施率	2.6%	2.3%	3.1%
石川支部	実施率	7.9%	9.4%	9.8%
富山支部	実施率	4.7%	10.1%	13.8%
全国平均	実施率	4.3%	5.7%	7.6%



# 支援の効果

保健指導を受けた人と受けていない人の、翌年度の比較。(H30～R1)

## <積極的支援>

	保健指導	動機、非該当
男性	受けない	31.6%
	受けた	39.5%
女性	受けない	49.8%
	受けた	55.3%

H30年度 積極的支援の該当になった対象者が、令和元年度に動機づけ支援または支援非該当になった割合。(□)

## <動機づけ支援>

	保健指導	積極	非該当
男性	受けない	27.9%	28.2%
	受けた	22.6%	32.9%
女性	受けない	16.7%	33.0%
	受けた	14.8%	37.6%

H30年度 動機づけ支援の該当になった対象者が、令和元年度に積極的支援になった割合(□)。  
H30年度 動機づけ支援の該当になった対象者が、令和元年度に支援非該当になった割合。(□)

保健指導(積極的、動機づけ)を受けた人のほうが、翌年度の該当率が低い。

動機づけ支援の保健指導を受けない人のほうが、翌年度は積極的支援の該当率が高い。



## 課題

特定保健指導実施率の向上 ⇒ 多くの人に保健指導を受けてもらう

### 対象者の8割が保健指導を受けていない

#### 受けない理由

時間が取れないため（工場勤務、少人数事業所 など）

本人が希望しないため（治療通院中 など）

常時、社外勤務のため（営業職、トラック・タクシー運転手 など）

新型コロナのため（感染予防）

#### 協会けんぽで実施していること

文書案内、電話勧奨、広報（チラシ、ラジオCM）

事業所に効果周知を含めた訪問勧奨

コラボヘルス（健康宣言事業所）

ICTによる保健指導

## ICTによる特定保健指導の利点

遠地対応が可能	県外勤務の対象者
対象者の都合に応じて、場所や時間の柔軟な対応	事業所のパソコン 個人/社給のスマートフォン プライバシーが確保できる場所であれば、社用車や自宅でも保健指導可能 業種、職業に応じて、夜間・土日の保健指導も可能
ICT機器の貸し出し	必要なアプリはインストールされており、すぐに利用できる。
ITツールを有効活用できる	楽しみながら継続できるセルフモニタリングツールの提供

## ICTによる特定保健指導の状況

福井支部	実施に向けて準備中。
委託機関	専門機関のうち1機関は保健指導の1割程度実施中。
	遠隔面談専門機関は10月より開始。
	健診機関のうち1機関は11月より開始。